



東北大学 コアファシリティ統括センター

現状と課題

研究設備の共用化推進

- ・テクニカルサポートセンター(TSC)の設置 (H20)
- ・設備サポートセンター整備事業(H27)：キャンパス毎にサテライトを設置
- ・研究機器相互利用ネットワーク導入実証プログラム (SHARE) (H29)：地域研究機関との連携強化

<課題>

- ・設備整備計画は部局提案に基づいており全学的方向性と必ずしも一致しない
- ・分散型キャンパス内共用は進んだが、**全学的共用体制の構築推進**が必要
- ・超高度先端設備のより多くの**世界的な活用には、共用体制強化**が必要

技術職員の活躍促進

- ・総合技術部の設置 (H21)：技術職員の全学的な適正配置
- ・6職群の設置 (H25)：技術毎に職群を設置、人事管理、技術研修開始
- ・総長研究支援技術賞の創設 (H28)
- ・文部科学大臣表彰（研究支援賞）受賞 (R2)

<課題>

- ・研究環境DX等の研修プログラムの再構築が必要
- ・研究者の研究パートナーとしてのスペシャリスト育成計画が必要
- ・ジェネラリスト/マネージャーの育成、複線キャリアパスの構築が必要

年次計画

主な取組

研究基盤マネジメント
技術職員の複線キャリアパス

技術・マネジメント研修プログラム

技術情報サイト・コンテンツ

設備のリモート・スマート共用環境

設備統合管理システム

5年後の達成目標

～時代変革を捉え、総合知を先導する研究基盤構築エコシステムの開発～

コアファシリティ統括センター (CFC)

研究基盤整備戦略企画会議

研究担当理事・人事担当理事・財務担当理事・TSC・情報部・総合技術部

テクニカルサポートセンター (TSC) (研究担当理事)

コアファシリティ管理運営部門

設備更新・整備計画の立案・調整
学内共用設備保有調整、外部機関連携

共用利用システム管理部門

予約・料金・進捗管理

極低温科学センター 先端電子顕微鏡センターなど 学内共用施設

共同利用・共同研究拠点 ナノプラ事業 マテリアル先端事業

情報部 (CDO)

研究統合管理システム
設備利用や技術等データの集積
研究データと統合

総合技術部 (人事担当理事)

共用利用マネジメント部門

技術情報サイト・コンテンツ構築
学内外からの利用相談に対応
リモート環境整備
効率的な操作計測・遠隔教育

企業コラボ室 管理運営

国際化対応

スキル開発センター

研修開発と実施

OJT and OffJT

オンライン教材開発

学内外講師派遣

参加を通して
企画/マネジメント/技術
指導等の
スキルを獲得

職群

加工・
開発

電子回路・
測定

分析・
観測

生物・
生命

情報・
NW

安全・
保守

業務統括
高度技術の指導・組織管理
キャリアパスの複線化

学外教育機関 (弘前大・岩手大・秋田大・山形大・福島大・宮城教育大、等)
公的研究機関 (宮城県産技センター)、研究機関 (大学連携研究設備ネットワーク)

5年後の姿

理事3名をメンバーとする研究基盤整備戦略企画会議により、全学ビジョンに沿った戦略的研究設備の整備や技術職員の配置を実施

設備・技術データの効率的な収集、他の研究データと組み合わせた解析による研究設備の研究成果への効果の解析と把握

研究設備のリモート接続による効率的な計測・遠隔教育の実現による研究環境DXの推進

技術職員のスキルアップ環境充実、複線キャリアパスの構築による研究パートナー人材の拡充

R3

R4

R5

R6

R7

コアファシリティ統括センターの設置
設備、利用データの管理、技術・設備管理の人材育成体制の構築

プログラム開発

試行・検証

実施

設計・開発

運用

更新

整備・運用

運用拡大

仕様策定

構築

運用

改修